

札幌市立発寒中学校 学校だより

第 447号

2021, 4, 8



# はちゃむ

98きまりの精神【礎】  
『自律』『尊重』『協力』

## 新年度の始まりにあたって

～始業式『校長先生のお話』より～

校長 丹羽 俊

今日は新しい一年の始まりとなる1学期の始業式です。この節目の日に当たって、私からお話をさせてもらいたいと思います。今、テレビ放送を聞いてくれている、2, 3年生の皆さんに対するお願いであると同時に、明日、入学してくる新入生に対するお願いにもなりますので、明日の入学式でも、新1年生に対して同じお話をします。つまり、発寒中学校の皆さんに対する、私の願いであり、思いであります。二つあります。

一つ目は、学習でも、行事や部活動などでも、これからの中学校生活の中で得られる、「達成感」や「充実感」を大切に積み重ねてほしいということです。何かを成し遂げた時に感じる「できた」とか「やれた」という思いは、あなたたちに喜びや満足をもたらし、その喜びや満足は自信へとつながります。さらにその自信は、次の活動への意欲につながっていきます。意欲をもって主体的に取り組む活動は、誰かにやらされたり、いやいや行う活動の何倍も得るものがあるはずで、自分にも解決できそうな課題を設定して、そこから得られる「達成感」「充実感」を積み重ねてください。

二つ目は、一つ目のお話の反対です。やりとげた「達成感」と同じくらいできなかったことや、失敗したことを大事にしてください。つまずきや失敗には必ず原因があります。皆さんには、その原因を自分の中に見つけ、解決して乗り越えていくという姿勢を身に付けてほしいと思います。できなかったことや失敗したことの原因を自分の中に見つけようとせず、人のせいにするのは簡単なことです。逆に、その原因を自分の中に見つけようとするのは、とても勇気のいることです。でも、その勇気こそがこれから皆さんを成長させ、そして皆さんを支えてくれるのです。その勇気をもとうという決意を今この節目となる始業式に、心に刻んでほしいと思います。

明日からは、新入生も入ってきます。中学校のことが何もわからない1年生が、先輩である皆さんの背中を見て、その後ろ姿にあこがれ、追いかけてくるような先輩になってほしいと願います。

### 【学校だより「はちゃむ」命名の由来】

平成9年度より、学校だよりの名前を「はちゃむ」としています。発寒の名の由来は、アイヌ語「ハチャム」（桜鳥の意）に由来しています。この発寒地区に開拓当時は、桜鳥が群生していたからだとも、地形がこの鳥に似ていたからだとも言われています。

また、道南の厚沢部町も同様の理由で町名がついたと言われています。桜鳥は、ムクドリの方で、夏鳥と言われていますが、近年は真冬にも見ることが多くなりました。